

主要事業概要



一般国道 456 号・主要地方道紫波江繫線 星山地区道路改良事業
(紫波郡紫波町星山地内)

国道 456 号と紫波江繫線の交差部で、食い違い交差の解消や右折車線整備、歩道・路肩の拡幅を行い、安全で円滑な交通を確保しました。事業は平成 28 年に着手し、令和 7 年度完成するまで9年をかけて整備されました。

盛岡広域振興局土木部

盛岡広域振興局土木部主要事業概要目次

《盛岡広域振興局土木部の業務概要》

1	盛岡広域振興局土木部の組織	-----	1
2	盛岡広域振興局管内の予算概要	-----	1
3	盛岡広域振興局所管の概要	-----	1
(1)	概要	-----	1
(2)	管理施設	-----	1
4	土木部主要事業位置図	-----	2

《盛岡広域振興局土木部の主要事業》

1 過去の教訓を踏まえた防災対策の推進

(1)	河川の氾濫による浸水被害等を未然に防止する河川施設の整備		
①	一級河川岩崎川 広域河川改修事業（矢巾町北矢幅）	-----	3
②	一級河川木賊川 広域河川改修事業（滝沢市穴口）	-----	4
③	一級河川北上川・松川広域河川改修事業（盛岡市玉山）	-----	5
(2)	緊急輸送道路等の橋梁耐震補強の推進		
①	主要地方道盛岡横手線夕顔瀬橋橋梁補強事業	-----	6

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備

(1)	市街地の円滑な交通の確保		
①	都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区街路事業（盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮）	-----	7
②	一般県道 矢巾停車場線 又兵エ新田地区 無電柱化推進事業（矢巾町又兵エ新田）	-----	8
(2)	高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善の推進		
①	公営住宅建設事業（県営緑が丘アパートリフレッシュ工事）（盛岡市緑が丘三丁目）	-----	9
(3)	歩道整備や歩行空間確保の推進		
①	主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業（盛岡市浅岸）	-----	10
(4)	過去に整備された橋梁の長寿命化の推進		
①	主要地方道 盛岡環状線 滝太橋 橋梁補修事業（盛岡市上太田中瀬及び滝沢市大釜塩の森）	-----	11

3 産業経済活動を支える交通ネットワーク整備

(1)	県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備		
①	主要地方道盛岡環状線 滝向地区道路改良事業（滝沢市滝向）	-----	12

令和8年度 盛岡広域振興局土木部の業務概要

1 盛岡広域振興局土木部の組織

(R8.4.1現在)

土木部	部長		1名
	管理用地室	管理課、用地課	19名
	道路都市室	道路整備課、道路環境課	19名
	流域治水室	河川砂防課、網取ダム管理事務所	15名
	建築住宅室	建築指導課、住宅課	6名
	土木企画グループ		3名
土木部合計			63名
岩手土木センター			24名

2 盛岡広域振興局管内の予算概要(R08 県土整備部関係公共事業費:政策I)

(百万円)

圏域	所属	R08年度 当初	R07年度 当初	増減	増減率
盛岡広域	盛岡土木部	6,346	5,555	791	14.2%
	岩手土木センター	1,917	3,208	▲1291	-40.2%
盛岡広域計		8,263	8,763	▲500	-5.7%
岩手県合計		79,950	77,280	2,670	3.5%

3 盛岡広域振興局所管の概要

(1) 概要

	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
市町村	2市3町	1市2町	14市15町4村
	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町	八幡平市、岩手町、葛巻町	
面積	約1,984km ²	約1,658km ²	約15,275km ²
人口	405,234人	37,511人	1,126,813人

※出典:面積 全国都道府県市区町村別面積調(R8.1)
岩手県人口移動報告年報(R7.10.1)

(2) 管理施設

道路	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
一般国道	106、282、396、455、456号	5路線	19路線
	延長 135.0km 改良率 100%	県全体延長の 10.9%	延長 119.5km 改良率 100% 県全体延長の 9.6%
主要地方道	盛岡横手線 ほか7路線	8路線	50路線
	延長 143.0km 改良率 94.3%	県全体延長の 10.8%	延長 102.7km 改良率 95.2% 県全体延長の 7.8%
一般県道	日詰停車場線 ほか34路線	35路線	195路線
	延長 236.2km 改良率 88.4%	県全体延長の 14.4%	延長 114.2km 改良率 88.3% 県全体延長の 7.0%
計	全48路線	県全体延長の	全264路線
	514.2km	12.2%	全18路線 336.4km 8.0%

※出典:岩手の道路現況 R3.4.1現在

河川	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
一級河川	知事管理 38河川	知事管理 29河川	205河川
	総延長 322.8km	17.4%	総延長 275.9km 14.9%

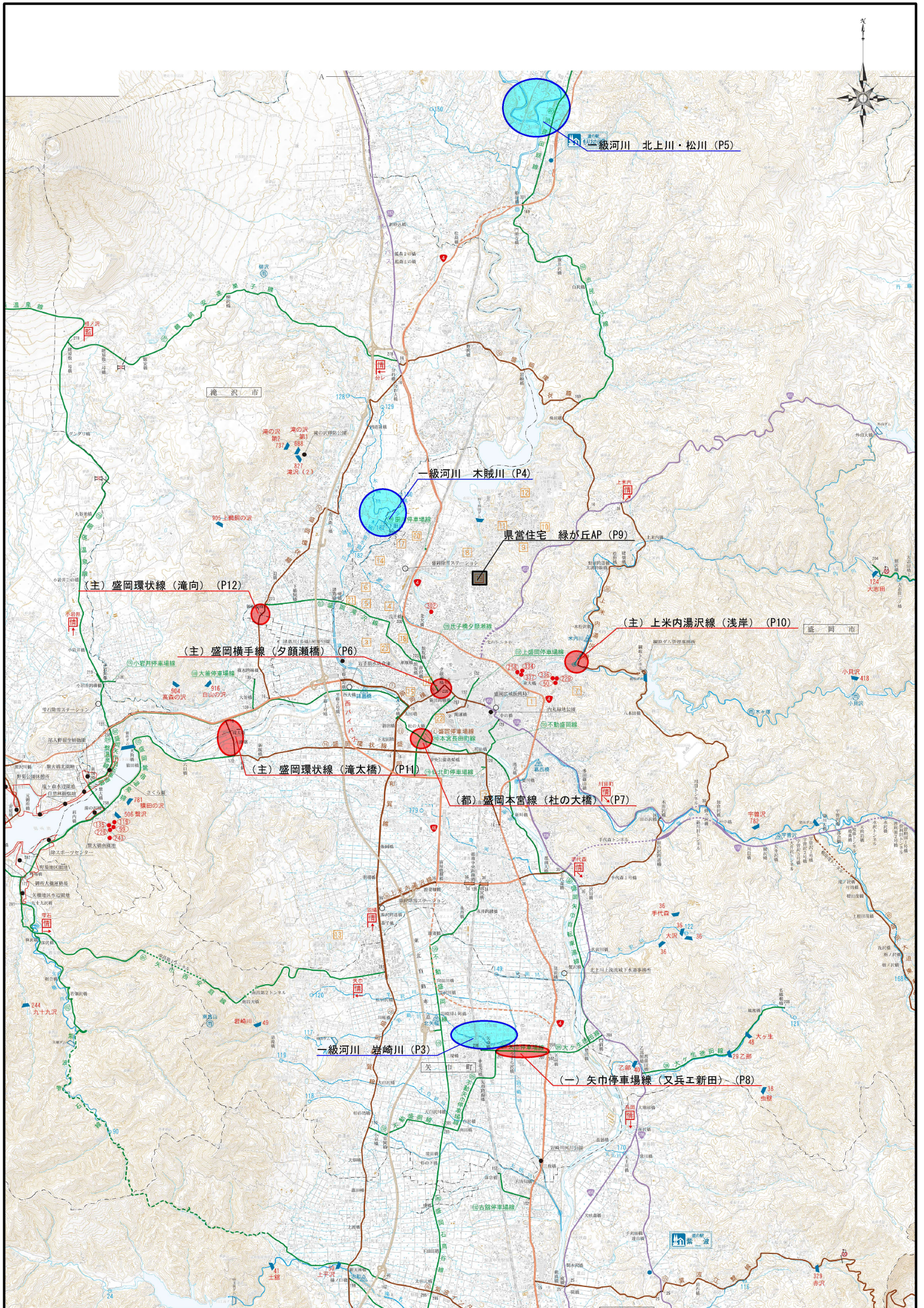
※河川データ:R4.3現在(2級河川を含む)

砂防等	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
土砂災害危険箇所	1366箇所	1164箇所	15,017箇所
うち区域指定済み	941箇所	739箇所	

※砂防等データ:R7.9現在

住宅	盛岡土木部所管	岩手土木センター所管	参考(県全体)
管理戸数	3,126戸	45.3%	-
入居率	69.2%		-

※住宅データ:R8.3現在



1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	① 岩崎川 広域河川改修事業 (床上浸水対策特別緊急事業)
-------------------------	--------------------------------------	----------------------------------

一級河川岩崎川広域河川改修事業

事業名 広域河川改修事業 一級河川岩崎川
 施行場所 北上川合流点 から 県道不動盛岡線 まで
 (芋沢川合流点から県道不動盛岡線までの区間は床上浸水対策特別緊急事業により実施)
 事業期間 平成4年度～令和19年度 (1992～2037年度)
 目的 岩崎川は、平成4年度から河川改修事業に着手しているが、岩手医科大学付属病院等をはじめ、周辺の市街化、資産の集中が進んでいる。このような状況の中、平成25年8月の出水により岩崎川が氾濫し、沿川において382戸の家屋浸水被害が発生した。このため、芋沢川合流点より上流区間において床上浸水対策特別緊急事業を導入し河川改修を進め、令和2年度に県道不動盛岡線までの河川改修が完了した。今後は、支川の太田川、芋沢川の改修を進めることとしている。

全体計画 ・全体延長 L=11.94km (岩崎川 7.94km 太田川 1.6km 芋沢川 2.4km)
 ・全体事業費 ΣC=20,414 百万円

計画諸元 ・流域面積 68.9 km² ・計画高水流量 520 m³/s (整備目標: 1/30)

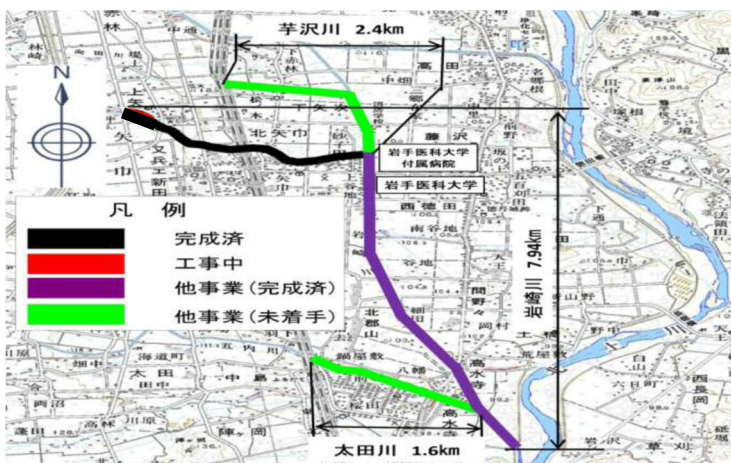
事業進捗状況

単位: 百万円

区分	全体額	R6迄	R7	R8	R9以降	進捗率 (事業費ベース)
全体事業費	20,414	15,810	55	11.6	4,537.4	77.8%
うち広域	10,280	5,676	55	11.6	4,537.4	
うち住関公	4,320	4,320	-	-	-	
うち床上	5,814	5,814	-	-	-	

事業実施

- 令和6年度まで 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工ほか
- 令和7年度 補償調査、用地買収 (R6補正)
- 令和8年度 堤内水路工事、下水道移設補償、補償調査、築堤工事 (R7補正含)
- 令和9年度以降 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工



浸水被害状況 (平成25年8月)



完成区間状況 (令和3年3月)

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	② 木賊川 広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	----------------

とくさがわ 一級河川木賊川広域河川改修事業

事業名 基幹河川改修事業 一級河川木賊川
 施行場所 滝沢市 穴口 地内ほか
 事業期間 昭和 61 年度～令和 29 年度 (1986～2047 年度)
 目的 木賊川では、平成 14 年 7 月洪水など浸水被害が度々発生しているが、沿川に家屋等が密集しているため河道拡幅に時間を要することから、市街地上流部において、遊水地や分水路の整備を先行し、下流市街地の治水安全度を高める計画としている。また、遊水地予定地内は自然環境が豊かであることから、有識者の意見を踏まえ、生物の保全対策を実施しながら整備を進めている。



(平成 14 年 7 月 台風 6 号)

全体計画 ・全体延長 L=6,000m
 ・全体事業費 ΣC=13,748 百万円
 計画諸元 ・流域面積 20.9 km² (整備目標：1/50)

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R6 迄	R7	R8	R9 以降	進捗率 (事業費ベース)
事業費	15,955	6,412	620	126	7,184	44.9%

事業実施

- ・令和 6 年度まで 遊水地工事 (護岸工、分水路、洪水吐基礎工ほか)、設計・猛禽類モニタリング等
- ・令和 7 年度 遊水地工事 (縮切堤基礎工)、猛禽類モニタリング等 (R6 補正含)
- ・令和 8 年度 遊水地工事 (洪水吐・縮切堤基礎工)、猛禽類モニタリング等 (R7 補正含)
- ・令和 9 年度以降 遊水地工事、河川改修工事



1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	③ 北上川下流広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	-----------------

一級河川北上川・松川広域河川改修事業

事業名 広域河川改修事業 一級河川北上川（下流）
 施行場所 盛岡市 玉山 地内
 目的 北上川及び支川の松川では、平成25年9月の台風第18号豪雨により浸水被害（床上浸水20戸、床下浸水66戸、計86戸）が発生したことから、河川改修事業を導入し、河道拡幅や築堤等の治水対策を進めている。また、ソフト対策として水位周知河川や洪水浸水想定区域を指定し、住民の避難に資する情報提供を行っている。

事業期間 平成27年度～令和25年度（2015～2043年度）

全体計画 ・全体延長 L=16.0km（北上川9.7km+松川6.3km）

・全体事業費Σ C=3,108百万円

計画諸元 ・流域面積 1,078.5k m²

・計画高水流量 北上川 1,070m³/s 松川 740 m³/s （整備目標：1/20）

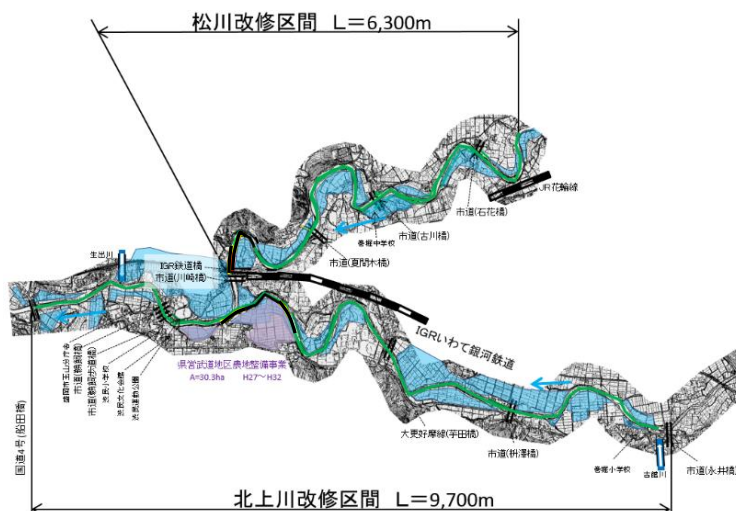
事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R6迄	R7	R8	R9以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	3,108	1,557.1	160	44	1,551	56.7%

事業実施

- 令和4年度まで 設計、用地測量、用地補償、河道掘削、築堤、護岸工、樋門工
 - 令和5年度～令和6年度 【松川】河川改修工（補正含）
 - 令和7年度 【松川】河川改修工・修正設計（R6補正含）
 - 令和8年度 【松川】河川改修工（R7補正含）
- 用地測量
- 令和9年度以降 用地測量、用地補償、河川改修工事



被災状況（平成25年9月 松川）



令和7年度松川整備状況（令和8年3月）

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(2) 緊急輸送道路等の橋梁耐 震補強の推進	① 主要地方道盛岡横手線 夕顔瀬橋橋梁補強事業
-------------------------	---------------------------	----------------------------

主要地方道 盛岡横手線 夕顔瀬橋 橋梁補強事業

事業名 道路環境改善事業（橋梁補修・補強）
施行場所 盛岡市 材木町 地内
事業期間 令和4年度～令和8年度
目的 主要地方道盛岡横手線は、岩手県盛岡市から秋田県横手市に至る重要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。本橋は平成5年に現在の形式に架け替えが行われたものであり、橋脚の耐震補強、支承部の補強を行うことで耐震性能の向上を図り、安全性を確保するものである。

全体計画 ・全体延長 L = 93.0 m ・事業費 Σ C = 500 百万円
 ・主な工種：橋脚補強工、支承部補強工、落橋防止工

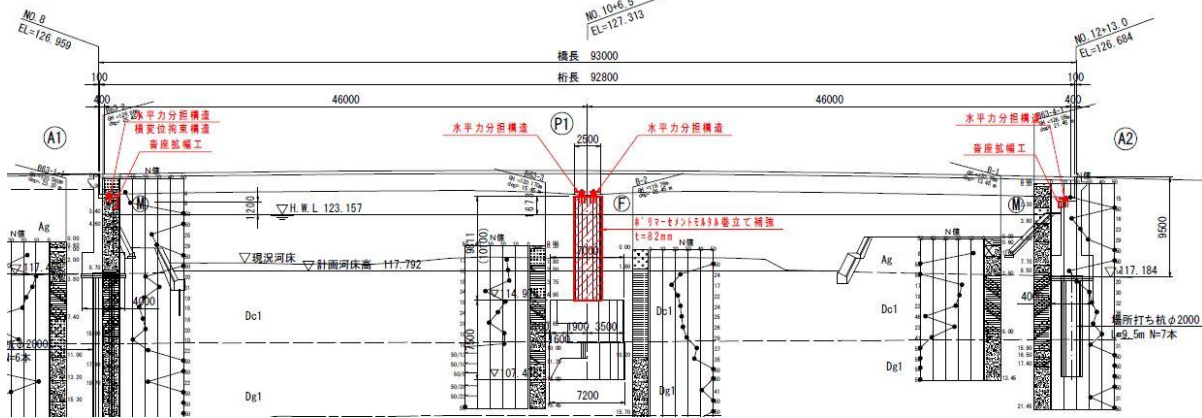
計画諸元 交通量（R3調査）：自動車 15,641 台/日（うち大型車 2,281 台/日）

事業進捗状況 単位：百万円

年度	全体額	R7迄	R8	R9以降	備考
事業費	500	380	120	0	R8完了見込

事業実施 令和7年度まで 詳細設計、仮設工、橋脚補強工、支承部補強工、落橋防止工
 令和8年度以降 仮設工、支承部補強工、落橋防止工

側面図 S=1:300



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1)市街地の円滑な交通の確保	① 都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業
----------------------	-----------------	-----------------------------

都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業

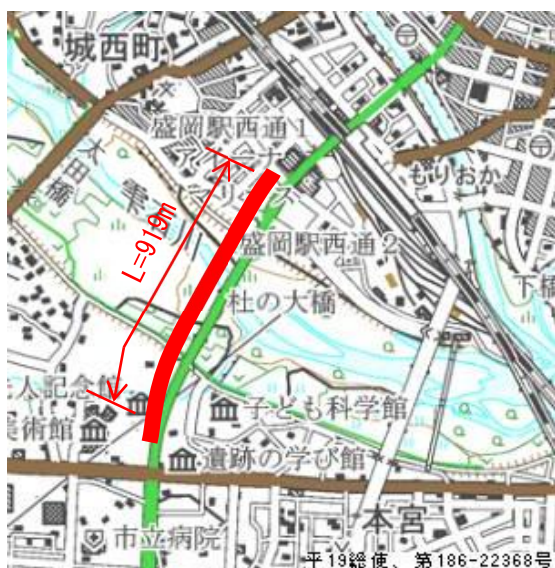
事業名 街路 都市計画道路整備事業（防災安全交付金）
 施行場所 盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮字荒屋 地内
 事業期間 平成23年度～令和8年度
 目的 増加する交通量やバスの定時性・迅速性の確保に対応し円滑な交通を図るため、暫定2車線としていた道路の4車線化整備を行う。
 全体計画 全体延長L=919m W=23.0m～29.0m
 事業費ΣC=5,600百万円
 計画諸元 交通量 19,200台/日
 事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R6迄	R7	R8	R9以降	備考
事業費	5,600	5,180	330	90	—	

事業実施

- ・令和6年度迄 環境調査、修正設計、中央公園高架橋工事、上部工工事、橋面工事、照明工事
融雪装置工事
- ・令和7年度 橋面工事、照明工事、融雪装置工事、4車線切替工事
- ・令和8年度 4車線切替工事（事業完了予定）



Ⅱ期線暫定供用（令和8年3月撮影）

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な交通の確保	④ 一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区無電柱化推進事業
----------------------	------------------	---------------------------------

一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区 無電柱化推進事業

事業名 道路環境改善事業（無電柱化推進）
 施行場所 矢巾町 又兵工新田地内
 事業期間 令和2年度～令和12年度
 目的 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（H30.12.14閣議決定）」により無電柱化を推進するもの。電柱が倒壊し、交通が遮断されるおそれがあることから、電柱で架空配線している設備を地中の電線共同溝に集約し、無電柱化を図ることにより確実な交通機能を確保するものであり、併せて歩道に消融雪施設を導入し、冬季の快適な歩行空間を整備するものである。

全体計画 ・延長 L=2,270 m（道路延長 L=1,135 m）
 ・全体事業費 ΣC=2,000 百万円

計画諸元 交通量（R3 調査）
 自動車 12,230 台/日、歩行者 183 人/12h、自転車 222 台/12h

事業進捗状況 単位：百万円

年度	全体額	R 7 迄	R 8	R 9 以降	備考
事業費	2,000	1,216	100	684	

事業実施

- ・令和7年度迄 電線共同溝詳細設計、NTT 施設譲渡契約
消融雪施設詳細設計、電線共同溝工事
- ・令和8年度 電線共同溝工事
- ・令和9年度以降 電線共同溝工事、融雪設備工事



(令和8年3月撮影)

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(2) 高齢化社会に対応した 県営住宅の建替え・ 改善の推進	① 公営住宅建設事業 (県営緑が丘アパートリフレッシュ ユ工事)
----------------------	--------------------------------------	--

公営住宅建設事業（県営緑が丘アパートリフレッシュユ工事）

事業名 公営住宅建設事業
 施行場所 盛岡市 緑が丘三丁目地内
 目的 既設の県営住宅において、設備機器の更新（配管等の更新、ユニットバスの設置、3ヶ所給湯等）、内装の更新、バリアフリー等、居住性の向上を図る事業である。
 事業期間 令和6年度～令和12年度
 全体計画 1号棟～4号棟 鉄筋コンクリート造3階建、4階建 全82戸
 全体事業費 1,414,051千円
 事業進捗状況 単位：千円

年度	全体額	R6	R7	R8	R9以降	備考
事業費	1,414,051	6,028	67,492	260,719	1,079,812	交付金事業

事業実施

令和6年度	設計	1号棟	
令和7年度	設計	3号棟	工事 1号棟
令和8年度	設計	2号棟	工事 1、3号棟
令和9年度以降	設計	4号棟	工事 2～4号棟

【実施例】 県営銅谷アパート1号棟（令和6年10月完成）



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	② 主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区交通安全施設整備事業
----------------------	--------------------	---------------------------------

主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業

事業名 道路環境改善事業（交通安全施設整備）
 施行場所 盛岡市 浅岸地内
 事業期間 令和4年度～令和8年度
 目的 当該地区は、山岸小学校の通学路にも指定されているが、一部歩道が未整備であり、歩行者が危険な状況となっていることから、歩道を整備し、歩行者の安全を確保するものである。

全体計画 ・延長 L=280 m ・歩道幅員 W=2.5 m
 ・全体事業費 ΣC=208 百万円

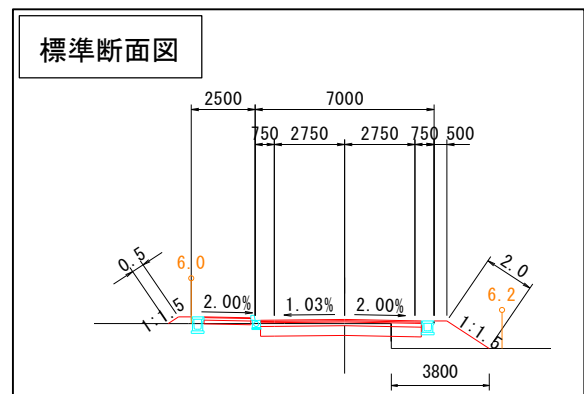
計画諸元 交通量（R3調査）
 自動車 2,148 台/日（うち大型車 339 台/日）、歩行者 32 人/12h、自転車 36 台/12h

事業進捗状況 単位：百万円

年度	全体額	R7迄	R8	R9以降	備考
事業費	253	172	81	0	R8完了見込

事業実施

- 令和7年度迄 測量・詳細設計、用地測量、用地取得、物件補償
- 令和8年度 物件補償、歩道設置工事



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備

(4) 過去に整備された橋梁の長寿命化の推進

① 主要地方道盛岡環状線 滝太橋橋梁補修事業

主要地方道 盛岡環状線 滝太橋 橋梁補修事業

事業名 道路環境改善事業（橋梁補修）
 施行場所 盛岡市上太田中瀬及び滝沢市大釜塩の森地内
 事業期間 令和4年度～令和10年度
 目的 主要地方道盛岡環状線は、盛岡都市圏の環状道路であり、岩手県地域防災計画における緊急輸送路（第2次）に指定されている重要な路線である。

しかし、現在の滝太橋は昭和47年に架設した老朽橋であり、早期に措置を講ずべき状態であると診断されている。

このことから、緊急輸送道路として安全で円滑な交通の確保や、救急医療施設へのアクセス性の向上を目的として橋梁の補修工事を実施するものである。

全体計画 ・計画延長 L=238.8m（現橋延長 L=237.58m） ・事業費 ΣC=2,513百万円

・主な工種：床版取替工、鋼桁補強工、鋼橋支承工、橋台拡幅工

計画諸元 交通量（R3調査）：自動車8,558台/日（うち大型車850台/日）

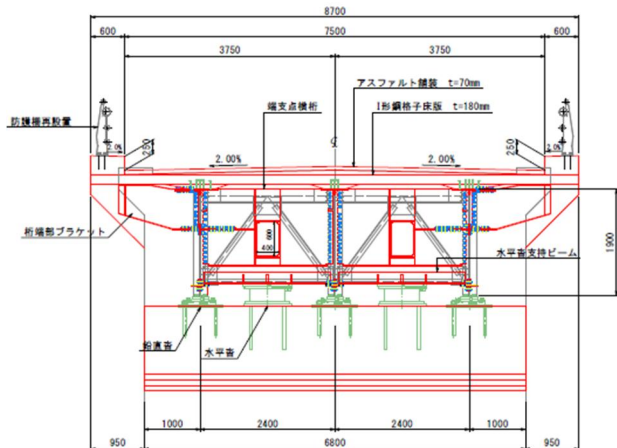
事業進捗状況 単位：百万円

年度	全体額	R7迄	R8	R9以降	備考
事業費	2,513	49	495	1,969	

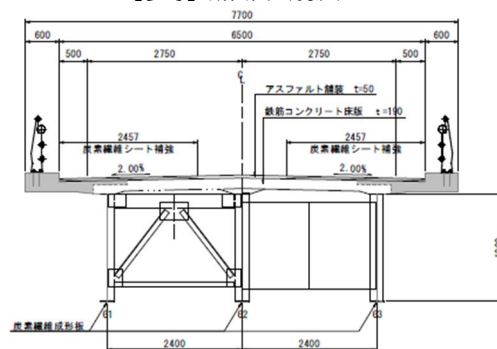
事業実施 令和6年度迄 測量調査、補修設計

令和7～10年度 床版取替工、鋼桁補強工、鋼橋支承工、橋台拡幅工

断面図（計画）



【参考】断面図（現況）



3 産業経済活動を支える交通
ネットワーク整備

(1) 県央圏域内外との交流を促
進するネットワークの整備

① 主要地方道盛岡環状線 滝向地
区道路改築事業

主要地方道盛岡環状線 滝向地区道路改築事業

事業名 防災・安全交付金（通常・強靱化）

施行場所 滝沢市滝向地内

目的 本路線は、盛岡都市圏の環状道路であり、緊急輸送道路に指定され、一般国道4号を補完する物流路線であるとともに、八幡平市と小岩井農場等の観光地を結ぶ観光路線としての重要な役割を担っていることに加え、当該区間の近隣には、滝沢市役所や滝沢市交流拠点複合施設、滝沢南中学校などの公共施設が立地している。

しかしながら、当該区間は車道、歩道、路肩幅員が狭小であるとともに、小さな平面・縦断線形が連続した線形となっており、さらに沿道に家屋が近接して建ち並んでいることから見通しが悪く、車両及び歩行者等の安全性が確保されていない状況にある。

このため、通学路における歩行者等の安全性及び走行車両の快適性の向上、公共施設へのアクセス性の向上により、安全で円滑な交通と歩行者の安全な通行の確保が図るものである。

事業期間 令和2年度～令和11年度

全体計画 計画延長 L=950m、計画幅員 W=6.5(14.5)m、両側歩道

事業進捗状況

単位：百万円

年度	全体額	R6 迄	R7	R8	R9 以降	備考
事業費	1,530	119	77	270	1,064	

事業実施

- ・令和6年度迄 道路測量設計、用地補償調査、用地補償
- ・令和7年度 用地補償
- ・令和8年度 用地補償、道路改良工事
- ・令和9年度以降 用地補償、道路改良工事

写真



位置図

